

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
現代社会	2 単位 法と現代	法学概論	堀田 学	1 年次	春

授業のキーワード	法、権利、義務
授業の概要	社会で生活していく上で、法律に関わらず生活を続けることは難しく、何らかの関わりを持たざるを得ません。この講義では、法学についての基礎知識の修得を目指します。
期待される学習成果（目標）	1. 法を身近なものとして捉えることができる。 2. 法についてその背景を理解することができる。 3. 司法の仕組みを理解する。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	法とは何か	授業のオリエンテーションと法学についての説明をします。	第 9 講	選挙権	選挙権について学びます。
第 2 講	法と習慣・道徳	習慣と道徳は法と関わりがあります。その関係について説明します。	第 10 講	情報社会と法	個人情報やプライバシーなど現代の法について学びます。
第 3 講	契約	契約について説明します。	第 11 講	国際法	国際法について学びます。
第 4 講	過失・不法行為	過失や不法行為について説明します。	第 12 講	人権	生存権など人権について学びます。
第 5 講	親族関係	結婚、離婚、親子関係について説明します。	第 13 講	市民と司法	裁判の傍聴や裁判員制度について説明します。
第 6 講	生活と仕事に関する法	労働法や消費者法について学びます。	第 14 講	リーガルマインド①	リーガルマインドについて考えていきます。
第 7 講	民法と刑法	民法と刑法の違いについて学びます。	第 15 講	リーガルマインド②	リーガルマインドについて考えていきます。
第 8 講	自動車と法	交通事故などに関係する法律を学びます。	定期試験		重要用語の理解、ならびに各講で取り上げた内容から出題します（記述も含む）。
評価方法	定期試験（100%）で評価します。 定期試験の受験資格として3分の2以上の出席が必要なので出席は毎回取ります。				
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
池田真朗編『プレステップ法学〔第2版〕』弘文堂、2013年 『ポケット六法（平成27年度版）』有斐閣、2014年			向井久了『法学入門』法学書院、2009年 伊藤正己・加藤一郎『現代法学入門〔第4版〕』有斐閣、2005年 笹倉秀夫『法学講義』東京大学出版会、2014年		